



学校教育目標 自ら学び考え 人間性豊かで 心身ともに健やかな生徒の育成
～ 挑戦 成長 そして飛躍へ ～

目指す生徒像 成長を目指し、進んで挑戦する生徒

全校集会での校長先生の話

3月1日（水）に全校集会を実施しました。
石原信行校長先生の集会でのお話を紹介します。



いよいよ3月を迎えました。3月は4月から始まる新年度にむけた節目の月でもあります。1・2年生の皆さんにとっては、それぞれ4月に進級の時期を迎えます。そして、3年生の皆さんは残すところあと10日で、この西中学校を卒業し、それぞれの進路へと巣立っていくことになります。

今年は、3年ぶりに全校生徒による卒業式となります。また、マスクの着脱についても、昨日案内したとおりに一部緩和することになります。コロナ禍の下での学校生活が長く続いてきましたが、明るい方向へと向かいつつあることを実感します。

今日は、卒業式についてお話したいと思います。

卒業式とは、正式には「卒業証書授与式」と言います。卒業証書を授与する式典であり、学校教育のシステムができあがった当初からあるもので、今なお続く学校の伝統的な行事です。つまり、これまで連綿として続いてきた、言ってみれば学校の歴史そのものです。卒業証書の番号がそのあらわれの一つかもしれません。西中学校の卒業生は昨年度で、すでに4,500人を突破しています。保護者や地域の皆様の中には、その一人だという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。その積み重ねの先に、今年の卒業生たちが巣立っていく、そう考えることができると思います。

卒業生にとって、卒業式とは、区切りとしての「終わり」と、次の生活への出発という「始まり」の意味をもちます。中学校は義務教育の修了という意味も大きいと思います。そんな中で、自らの成長に誇りをもち、それを支援してくれた人（保護者や先生など）へ感謝と将来への決意（立志）を示す機会となります。そして、なにより最初で最後、やりなおしの機会がない行事です。保護者の皆様には、わが子の成長の確認になります。親にとっては、わが子だけを見に来る行事なのかもしれません。地域にとっては、地域で育てた子どもの晴れ姿を見る行事になります。このような意味（意義）をもつ行事は、他にはありません。したがって学校の最大の行事といってよいと考えています。そのため、卒業式に向けた練習では、「中学校を卒業する成長した姿」という“型”を示すことを目指して取り組んでもらうことになります。卒業生はその目指す姿を理解し、身だしなみ、立ち居振る舞い、呼名の際の返事、合唱等々、それを全力で表現してもらいたいと思います。

最後になりますが、在校生となる1年生、2年生の皆さんにとっても、中学校での初めての卒業式となります。ともにこの西中学校で学んだ同窓生として、先輩達の卒業を祝うとともに、やがて迎える自分自身の卒業の時のため、その姿から多くのことを学んでほしいと思います。



「SNS相談@ちば」そっと悩みを相談してね

本年度に引き続き、中高生を対象に、令和5年度も4月1日よりSNSを活用した相談事業を実施する旨が、千葉県教育委員会より、以下について、お知らせがありました。

本相談は、外部の臨床心理士等の資格をもったカウンセラーが受けてくれます。相談期間は、毎週火曜日、木曜日、日曜日、時間は18時から22時までになっています。登録は、右のQRコードから登録ができます。



二次元コード

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について

国の新型コロナウイルス感染症対策本部の決定を受け、千葉県における対策本部において、新型コロナウイルス感染症対策の基本対処方針が示されました。学校に係わる内容について、以下のとおりお知らせします。引き続き、御理解と御協力くださいますようお願いいたします。

<マスク着用の考え方の見直しについて>

- ・学校におけるマスク着用の考え方の見直しは、4月1日から適応することとし、それまでの間は、これまでの考え方に沿った対応を行います。

【4月1日までの考え方】

- ・屋内において、他者と身体的距離（2m以上を目安）がとれない場合、他者と距離がとれるが会話を行う場合、屋外において、他者と距離がとれず会話を行う場合は、マスクの着用を推奨する。
- ・屋外において、他者と身体的距離が確保できる場合、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ない。

<卒業式におけるマスクの着用について>

- ・4月1日より前に実施される卒業式におけるマスク着用については、卒業式の教育的意義を考慮し、児童生徒等はマスクを着用せず出席することを基本とする。

※令和5年2月28日付けで、本校から配付した文書のとおりである。